

国際ペットワールド専門学校
学校自己評価報告書
(2018年度)

教育理念・目標

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4
社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

(2) 現状

- 当校の教育の特色として以下の点が挙げられる
 - ・ 業界のプロを講師として招聘した、授業を行っている
 - ・ 動物系学科では全学科で、「動物看護・美容・しつけ・動物福祉」の4分野が総合的に学べるカリキュラムとなっている。
 - ・ 専門知識・技術の習得だけでなく、人間力の強化、社会人基礎力の強化にも力を入れている。「Word」「Excel」「社会常識マナー」「コミュニケーション」などビジネス系検定の取得にも力をいれている。英語教育には、カナダ人講師を使用し、英会話の面を強化した。
 - ・ 国際的な視野を養うため、海外講師による特別授業、海外研修をおこなっている。
 - ・ 豊かな人間性を養うために地域行事への参加や、ボランティア活動などを実施している。
 - ・ 職業力を高めるための、企業等と連携したインターンシップ等の職業実践型授業を行っている。
- 教育理念や教育目標は学生には入学当初に配布する「学生の手引き」に記載し、新入生オリエンテーションで周知している。また、保護者には保護者会で周知を図っている(欠席者に対しては資料を送付)。

(3) 課題と改善策

学校の理念等について、どの程度理解しているかについて、毎年、在校生と、在校生の保護者に対してアンケート調査を実施している。このうち、「理解している」と、「ほぼ理解している」が90%で、良好であることが分かった。周知については、大多数の方が理解を示されており、問題は無い。

学校運営

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

(2) 現状

- 毎年の運営方針は、学校の教育理念、教育方針に基づいて決定し、年度初めの職員会で教職員に周知されている。
- 学校の運営についての諸規定は明確化されており、有効に機能し、かつ法令等の改正や通達等に合わせ見直しを行っている。
- 法人全体の運営体制は、理事会・評議委員会が組織され、定期的な運営状況の報告を行っており、法人全体に関わる重要事項は、理事会・評議委員会を開催して意志決定がなされている。
- 校内の運営体制は、運営組織は組織図、校務分掌において明確化している。また「教務会」、「主任会」「事務局会議」、「教職員会議」を定期的で開催し、重要事項の協議、周知、意志統一を図りながら、円滑な運営を行っている。
- 人事、給与については、法人の就業規則並びに諸規定（人事考課、昇給・昇格制度、給与規程）によって規定されており、よりよい人材の確保と育成を図るため、就業規則並びに諸規定の整備、見直しに努めている。
- 教育活動等の公開は当校ホームページ及びブログ、卒業生向けのホームページ、FACEBOOK 等により情報公開に努めている。
- 情報システムは、学籍管理システム、財務会計システム、予算検討システム、学校業務支援システム（学生納付金の管理等）等により教務の効率化がはかられている。

(3) 課題と改善策

産学協同の一つとして新潟市獣医師会と連携し、学内で動物夜間急患センターを設立した。新潟市では初の動物夜間病院となり、利用者が順調に増えている。この夜間病院をどのように学生の授業へ活用するかが課題となる。

教育活動

(1) 自己採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4
教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修などが行われているか	3

(2) 現状

- 教育課程は教育理念、教育目標を踏まえて策定されており、学科教育目標に沿って編成されている。
- 実践的な職業教育として、企業と連携した業界見学、インターンシップ等が行われている。
- 授業評価は年2回の「学生授業評価アンケート」を実施している。結果は各科目担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められており、「学生の手引き」に記載され学生に周知されている。
- 資格取得は試験前に集中対策授業や補講を行い合格率向上に努めている。
- 教員の資質向上のため、研修会、学会への参加等を奨励している。また、職員の能力開発は法人全体で各種研修を実施している（メンタルヘルスケア研修等）。

(3) 課題と改善策

教員の能力開発として、最新技術の習得や、新しい情報の導入を積極的に行う必要がある。現状よりも、業界の提供している研修や講演等への参加を受講する必要がある。

学修成果

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2

(2) 現状

- 就職相談室を配置し、法人の関連部署、ハローワーク、若者仕事館、業界、卒業生等との連携を図り、求人獲得、就職支援を行っている。
- キャリア教育として、業界関係者、卒業生等による講演を毎年開催している。また、就職に向けた動機付けを行う研修も実施している。
- 資格取得は、補講及び対策授業等を行い、合格率の向上を図っている。認定動物看護師試験 100%合格、ペット栄養管理士 100%合格、観賞魚飼育管理士 100%合格、潜水土 100%合格、マナーハンドラーテスト 100%合格、サロントリマー検定 2 級 100%合格の実績となった。
- 退学抑止については、出席率の低下、人間関係上の問題等が発生した際は、共有サーバ上の「学生指導報告書」への入力により速やかに情報共有され、全教職員で声掛け、見守りを行う体制ができている。カウンセラーによるカウンセリングを必要に応じて実施し退学率の低減に努めている。
- 卒業生による「校友会」が組織されており、校友会 FACEBOOK を通じた双方向の情報交換もなされている。卒業生の動向は、校友会との連携や企業訪問により把握している。
- 卒業後もしつけ教室(年 2 回)、セミナー、情報交換会を行い、卒業後のフォローアップをおこなっている。

(3) 課題と改善策

- 就職について、若年層の人口減少と業界の人手不足もあり、非常に順調に推移している。
- 資格取得について、Word 検定、Excel 検定等の合格率の低下がみられる。スマートフォンが普及し、PC 所有の低下や、日常的に PC を使用する状況が減少したことによる要因が考えられる。授業展開を改善し、合格率を上げるための検討を行う必要がある。
- 卒業生の社会的な活躍やキャリア形成の実態について、校友会と連携し、アンケートやヒアリングを定期的におこなえるよう体制の見直しを図ること。

学生支援

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

(2) 現状

- 進路・就職相談について、本人の希望や業界とのマッチング等に配慮しつつ個別指導を行っている。また、学年主任を設置しており、学生の生活上の諸問題等について、必要に応じて個別面談等を実施している。
- 財団法人日本産業カウンセラー協会によるカウンセリング制度、新潟リハビリテーション病院での院内対面カウンセリング制度を整備し、学生相談に対する体制を整備している。
- 経済的な支援体制については、特待生制度、法人独自の奨学金制度、納付金の延分納制度等を整備している。また、事務局に担当者を置き、教育ローンや奨学金利用の相談を受け付けている。
- 課外活動については、一定の基準を満たした団体について、学校公認のサークル活動と認定し、活動費の補助等の支援を行っている。
- 保護者会(年4回)、三者面談、保護者メールシステムの活用による情報共有等、保護者との連携を図っている。
- 卒業生に対しては卒業後の再就職相談にも応じている。また、校友会を中心に、卒業生対象のセミナー等を実施しスキルアップの支援をしている。
- 社会人向けに、県立テクノスクールの長期職業訓練生を、ペット美容学科で受け入れており、受講中である。

(3) 課題と改善策

社会人ニーズに即した教育環境の整備については、家庭犬しつけ教室の開催、市民公開講座を随時実施しているが、社会人が、より学習しやすくなる環境整備を検討も必要。

教育環境

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	3

(2) 現状

- 校舎全体のリフォームが完了し、専門教育に必要な備品、教具を備えた各種実習室が適切に整備された。
- 法人所有の研修施設(STEP、妙高園、たのうら研修センター)等も利用し、コミュニケーション合宿、就職研修など宿泊研修も含めて実施している。
- 教育目標の達成のために、インターンシップ、海外研修を推奨しており、インターンシップ、海外研修ともに受入先と連携して研修が進められるよう教育体制が整備されている。
- 防火管理者が立案した計画に基づき、毎年避難訓練を全校で実施している。

(3) 課題と改善策

海外研修について、十分な教育体制を整備している。しかし、近年は海外への渡航について興味を持たない学生が多くなっており、参加希望者数が用意している最少催行人数を下回り、催行できない渡航先が出てきた。海外研修へ参加させるための、費用負担軽減措置として、積立金を開始した。しかしながら、旅費の負担、就職活動への備え、一緒に行く友人などの問題から、参加者が伸び悩んだ。

学生の受入れ募集

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学生募集活動は適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

(2) 現状

- 学生募集については、パンフレット、学生募集要項を毎年作成し、入学希望者に配布している。学校説明会を毎月開催(月1~3回)し、学科説明、授業体験、保護者説明会を実施。入試方法、学費や奨学金制度の紹介等も実施して当校への理解を深めてもらっている。入学相談スタッフによる県内県外への高校訪問、高校内やホテル等で実施される進路ガイダンスに参加し、直接入学希望者に対応している。
- 教育成果は、パンフレットやWebサイトへの掲載によって公開されている。また学校説明会参加者には随時最新情報の資料を配布、開示している。
- テキスト、教材の追加購入や変更、検定等の再受験で過不足が出た場合は、年度末において適正に清算処理されている。

(3) 課題と改善策

特になし。

財務

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

(2) 現状

- 法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。

(3) 今後の課題と改善策

現状で直ちに改善しなければならない大きな問題はないが、18歳人口の減少や高校新卒者の就職率など外部要因の変動による収支への影響に耐えうる財務基盤の構築を行う。

法令等の遵守

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
自己評価結果を公開しているか	3

(2) 現状

- 法令、設置基準の遵守について、所轄官庁との対応は法人本部で窓口となり一括して行っている。また、所轄官庁等からの通知についても法人本部を通じて学校に通知され、教職員に周知されている。専任教職員は入社時に「コンプライアンス検定」の受験を必須とし、知識の習得に努めている。
- 個人情報の保護に関する規則は明文化されており、学生の手引きに記載され学生へも周知されている。
- 毎年教職員へのアンケート、自校に対する評価を実施。問題点については順次改善に取り組んでいる学校関係者評価委員会も設置し、自己評価の妥当性、透明性の向上を図っている。
- 本報告書を今後、当校の Web サイトに掲載して広く公開する。

(3) 課題と改善策

特になし。

社会貢献・地域貢献

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4

(2) 現状

- 小学校～高校の総合学習の受け入れや出張授業、地域のスポーツ振興会の打ち合わせ会場、動物看護師向けセミナー等へ校舎・教室を提供している。
- 近隣の老人介護施設へ、動物を連れて訪問するAAA活動を、授業の一環として実施している。
- ペット美容学科は、会員制で一般の飼い主から犬を提供していただき、カットモデル犬としてグルーミング、トリミングを行っている。
- 地域のドッグスポーツイベント、行事(にいがた総おどり、明和義人祭他)、献血等、積極的に参加した者は表彰をし、活動を推奨している。
- 公開講座を開催もしくは後援し、動物の飼育やしつけ、動物福祉等に関して、地域の方へも学びの機会を提供している。
- 動物病院実習室を夜間に動物病院として活用し、動物夜間急患センターとして稼働している。

(3) 課題と改善策

特になし。